

令和6年度
豊橋市ひきこもり実態調査
結果報告書

令和7年1月

豊橋市保健所 健康増進課

目次

はじめに	1
1 調査概要	2
2 調査結果の見方	3
3 調査結果（当事者又は経験者及び家族）	4
①回答者のプロフィール	4
②ひきこもり当事者のプロフィール	5
③ひきこもり当事者のこころの健康状態	7
④ひきこもりのきっかけ	8
⑤不安や悩み	10
⑥支援	13
⑦現在の困り事	22
4 調査結果（民生委員・児童委員）	23
①ひきこもりの認知	23
②ひきこもり当事者のプロフィール	24
③ひきこもり当事者の状態	26
5 総括	29
6 資料編	31
①調査票（当事者又は経験者及び家族）	31
②調査票（民生委員・児童委員）	35

はじめに

令和 4（2022）年度の内閣府調査によると、全国で 15～64 歳のひきこもり状態にある人（以下、当事者）は 146 万人（50 人に 1 人）いると推計されています。

ひきこもりに至るまでには、それぞれの当事者に多様な姿があり、当事者がなんとかしたいと悩み、言葉にできない生きづらさや葛藤を抱える中で、世間的には甘えや怠けという誤解や偏見が残っています。当事者や家族は世間の目が気になり、家庭の問題として家族が抱え込みやすいことなどから、支援につながりにくい状況が生まれています。そのため、安心して受け止められる場所や理解してもらえる環境が求められています。

また、ひきこもりの状態が長期化することで、80 歳代の親が 50 歳代の子の生活を支える状況となる、いわゆる「8050 問題」が顕在化しています。今後は、親も当事者も高齢化が進むことで、生活が行き詰まる状態の増加が予想されており、個人や家庭だけでなく社会全体で取り組むべき課題となっています。

本市では、ひきこもり当事者又は経験者及び家族のニーズを把握し、より良い支援を検討するため、関係機関が把握している当事者又は経験者及び家族と、民生委員児童委員へ実態調査を実施し、約 600 件のご回答をいただきました。この報告書はこれらの貴重なご意見を取りまとめたものです。

最後に、この実態調査にご協力いただきました市民の皆様、民生委員児童委員、ひきこもり支援関係団体の皆様に、深く感謝申し上げます。

1 調査概要

① ひきこもり支援ニーズアンケート【当事者又は経験者及び家族】

調査目的：ひきこもりの当事者又は経験者及び家族の実情や思いを把握し、
今後のひきこもり支援に生かす

調査対象：関係機関が把握しているひきこもり当事者又は経験者及び家族

調査期間：令和6年9月1日～10月13日

配布数：129件

回収数：自記式 50件 Web回答6件 計56件（回収率43.4%）

調査手法：市内ひきこもり支援機関及び市のひきこもり支援部署による調査票
配布・自記式又はWEBの回答

② ひきこもりに関するアンケート【民生委員・児童委員】

調査目的：地域の支援（関わり）状況を把握し、今後のひきこもり支援への参考
にする

調査対象：豊橋市内の民生委員・児童委員

調査期間：令和6年9月1日～11月5日

配布数：552件

回収数：519件（回収率94.0%）

調査手法：民生委員・児童委員会長連絡会にて調査票配布・自記式

★この調査は、おおむね15歳から64歳までの方で、次に該当するような方を
「ひきこもり状態にある方」とします。

①仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせず、6ヶ月以上続
けて自宅にひきこもっている状態の方

②仕事や学校に行かず、時々買い物などで外出することはあるが、6ヶ月以上続けて
家族以外の人との交流はない方

※ただし、重度の障害等で外出できない方は除きます。

2 調査結果の見方

○図表中の割合は、小数点第2位を四捨五入している関係上、合計が100.0%にならない場合があります。

○複数回答の設問は、回答が2つ以上となることがあるため、合計は100.0%を超えることもあります。

○図表中の「N」とは回答件数の総数のことで、比率算出の基数となります。

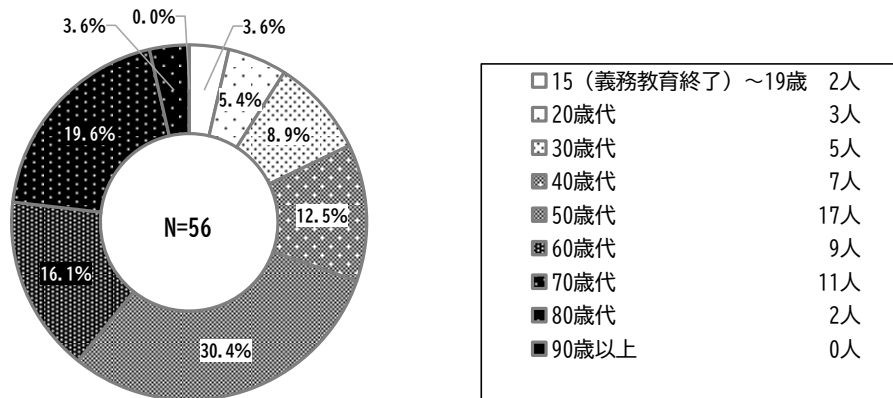
○帯グラフの図表において、「0.0%」の項目は数値表記を省略しています。

3 調査結果（当事者又は経験者及び家族）

① 回答者のプロフィール

問1 回答者の年齢

回答者の年代では、「50歳代」が30.4%で最も高く、次いで「70歳代」が19.6%となっています。60歳代以上は39.3%となっています。

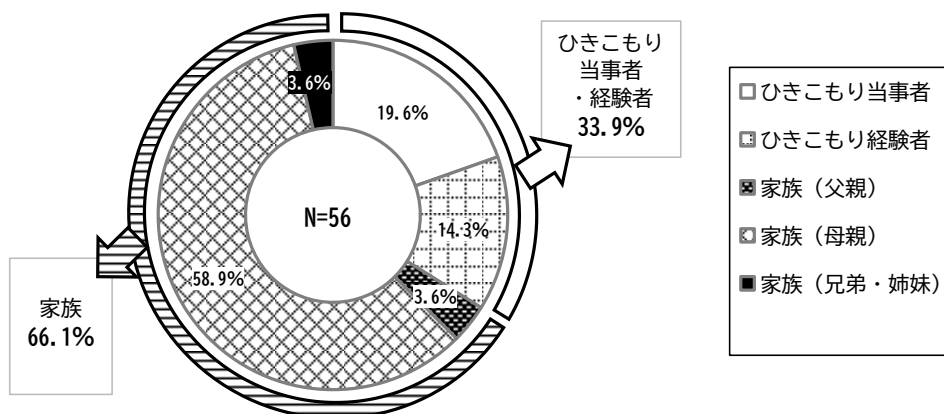


【回答者の年齢（立場別）】

	N=	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
当事者・経験者	19	5.3	15.8	26.3	26.3	26.3	0.0	0.0	0.0	0.0
家族	37	2.7	0.0	0.0	5.4	32.4	24.3	29.7	5.4	0.0

問2 回答者の立場

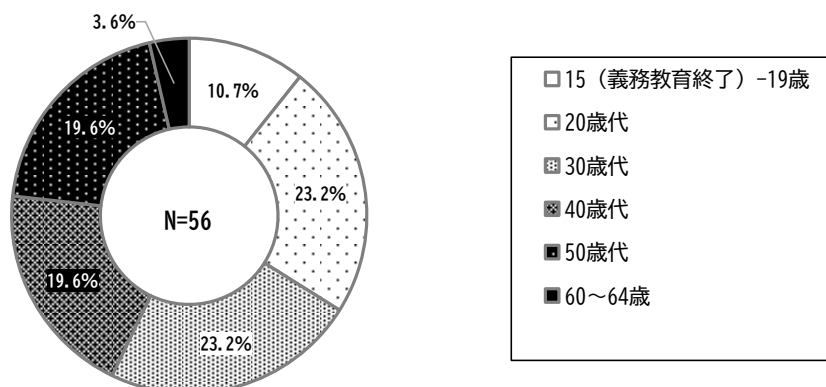
回答者の立場では、「ひきこもり当事者」及び「経験者」は合わせると33.9%となっています。家族を合わせると66.1%で内訳は、「母親」が最も多く58.9%となっています。



② ひきこもり当事者のプロフィール

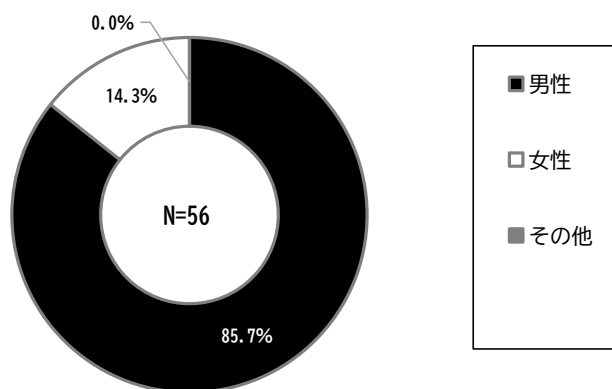
問3 当事者の年齢

当事者の年代では、「20 歳代」と「30 歳代」が 23.2%で最も高く、次いで「40 歳代」と「50 歳代」が 19.6%となっています。



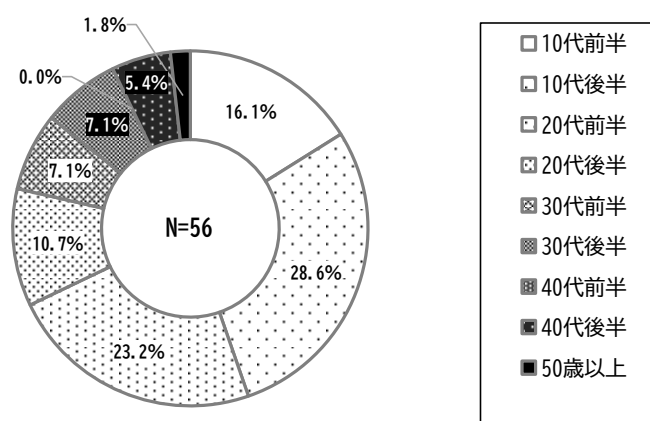
問4 当事者の性別

当事者の性別では、「男性」が 85.7%、「女性」が 14.3%となっています。



問5 ひきこもり状態になった時期

ひきこもり状態になった時期では、「10代後半」が28.6%で最も高く、次いで「20代前半」が23.2%となっており、10-20歳代が78.6%となっています。

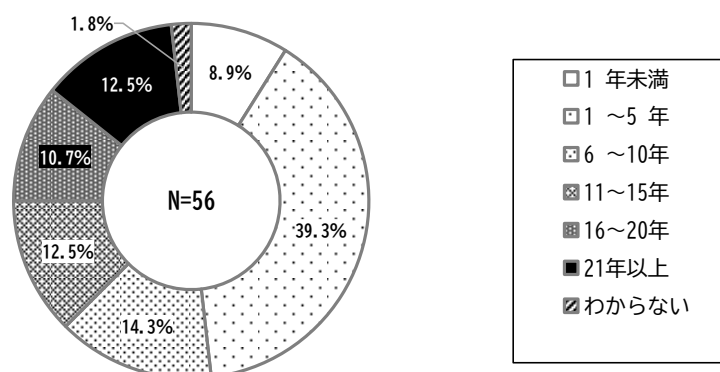


【ひきこもり状態になった時期 (立場別)】

	N=	10代前半	10代後半	20代前半	20代後半	30代前半	30代後半	40代前半	40代後半	50歳以上
当事者・経験者	19	5.3	21.1	26.3	21.1	10.5	5.3	0.0	5.3	5.3
家族	37	21.6	32.4	21.6	5.4	5.4	8.1	0.0	5.4	0.0

問6 ひきこもり期間

ひきこもり期間では、1～5年が39.3%で最も高くなっています。また、6年以上の期間の方は50.0%、そのうち、21年以上の方は12.5%となっています。



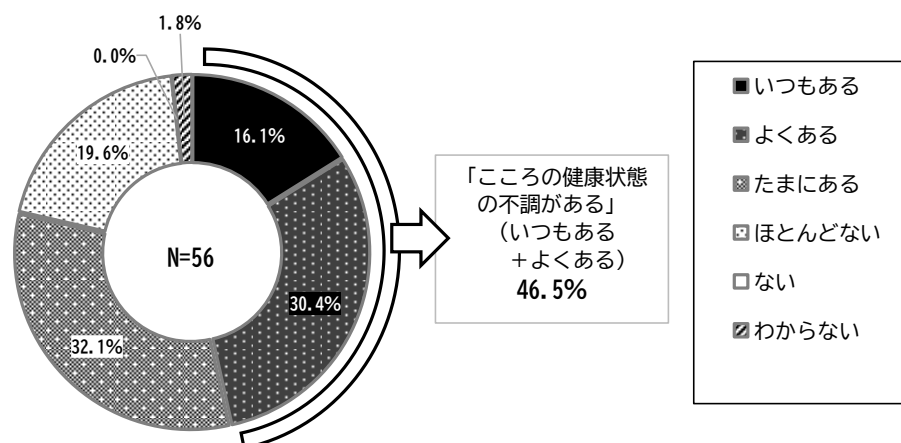
【ひきこもり期間 (立場別)】

	N=	1年未満	1～5年	6～10年	11～15年	16～20年	21年以上	わからない
当事者・経験者	19	21.1	36.8	10.5	10.5	10.5	10.5	0.0
家族	37	2.7	40.5	16.2	13.5	10.8	13.5	2.7

③ ひきこもり当事者のこころの健康状態

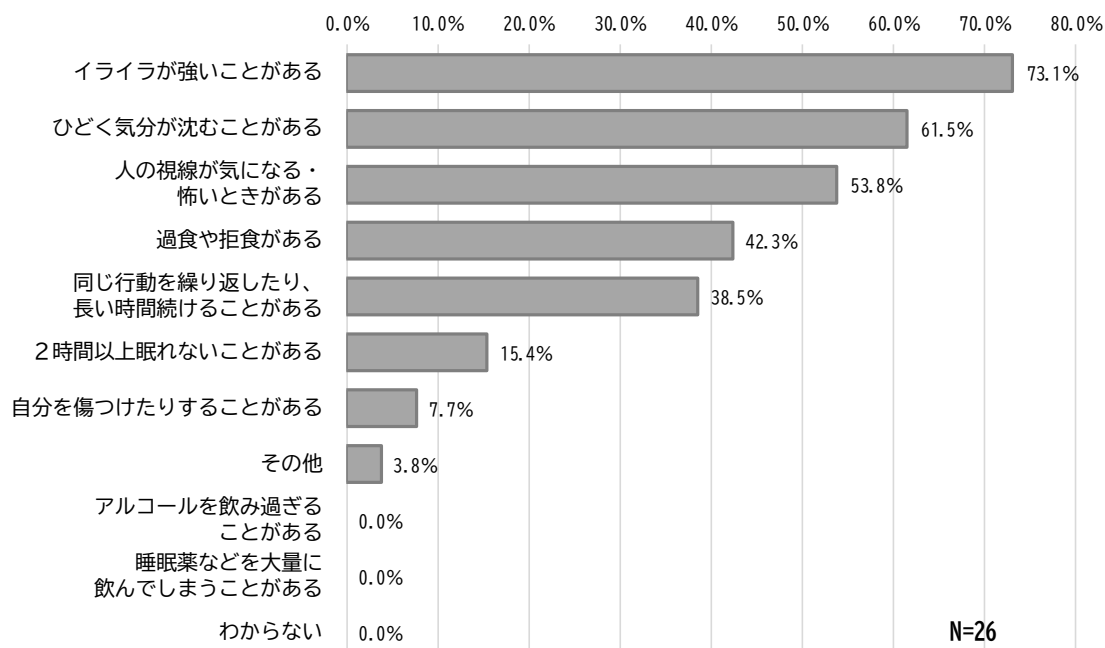
問7 ひきこもり当事者のこころの健康状態に不調を感じることがありますか

当事者のこころの健康状態では、こころの健康状態の不調が「いつもある」と「よくある」を合わせると、「こころの健康状態の不調がある」のは 46.5%となっています。



問8 (問7で「いつもある」・「よくある」と回答)どのような不調を感じますか。(複数回答)

こころの健康状態の不調について、不調の内容では、「イライラが強いことがある」が73.1%で最も高く、次いで「ひどく気分が沈むことがある」が61.5%、「人の視線が気になる・怖いときがある」が53.8%となっています。



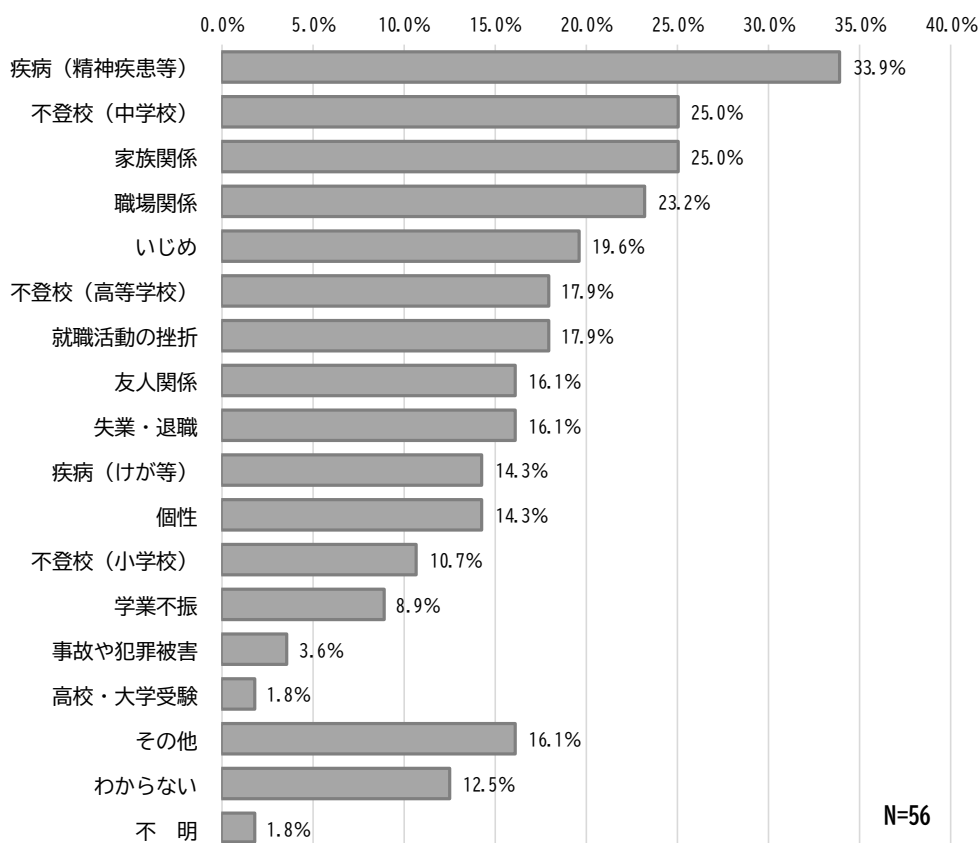
【その他の内訳】

・怒鳴り散らす

④ ひきこもりのきっかけ

問9 ひきこもり当事者または経験者のひきこもりのきっかけとなった(と思われる) ことをすべて選んでください。(複数回答)

ひきこもりのきっかけでは、「疾病(精神疾患等)」が33.9%で最も高く、次いで「不登校(中学校)」と「家族関係」が25.0%となっています。

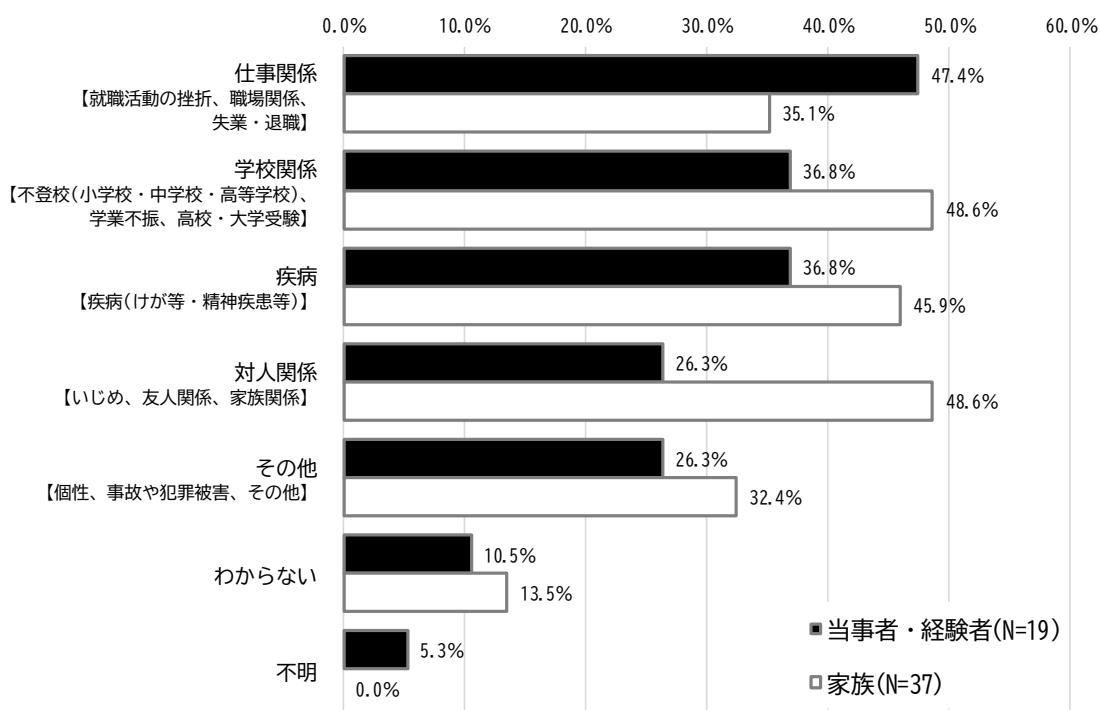


【その他の内訳】

・転居 2件 ・自動車学校 ・ネット配信にハマったから ・遺伝障害(脳) ・ゲーム ・コロナの流行

ひきこもりのきっかけをカテゴリー別にまとめると、立場別では当事者・経験者は「仕事関係」が47.4%で最も高く、次いで「学校関係」と「疾病」が36.8%となっています。家族は「学校関係」と「対人関係」が48.6%で最も高く、次いで「疾病」が45.9%となっています。

【ひきこもりのきっかけ（カテゴリー別まとめ・立場別）】



※カテゴリー内のいずれかの選択肢を回答した者の割合を集計したもので、カテゴリー内の選択肢の割合の和ではありません。

年代別では、10-20歳代では「不登校（中学校）」が42.1%、30-40歳代では「就職活動の挫折」と「疾病（精神疾患等）」が33.3%、50歳以上では「職場関係」と「疾病（精神疾患等）」が46.2%で最も高くなっています。

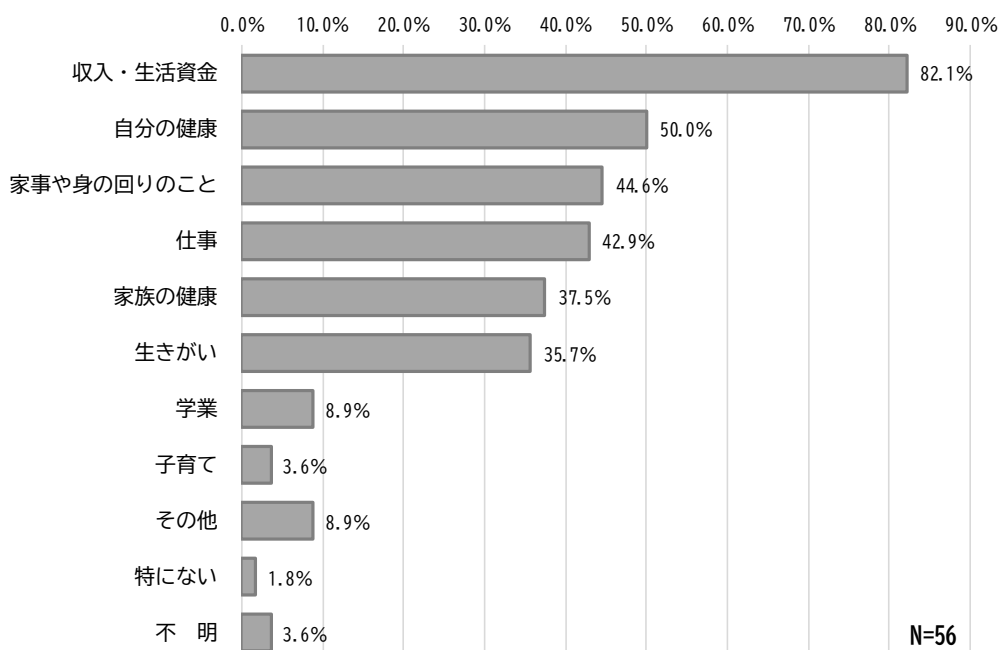
【ひきこもりのきっかけ（当事者の年代別上位）】

N=							(%)
10-20歳代	19	不登校 (中学校)	不登校 (高等学校)	疾病 (精神疾患等)	友人関係	その他	
		42.1	31.6	26.3	21.1	21.1	
30-40歳代	24	就職活動の挫折	疾病 (精神疾患等)	家族関係	不登校 (中学校)	いじめ	職場関係
		33.3	33.3	29.2	20.8	20.8	20.8
50歳以上	13	職場関係	疾病 (精神疾患等)	失業・退職	いじめ	家族関係	
		46.2	46.2	38.5	30.8	30.8	

⑤ 不安や悩み

問10 あなたが不安に思っていること(ご家族の場合は当事者本人について不安に思っていること)をすべて選んでください。(経験者の方は、当時の状況をお答えください)(複数回答)

不安に思っていることでは、「収入・生活資金」が82.1%で最も高く、次いで「自分の健康」が50.0%、「家事や身の回りのこと」が44.6%となっています。



【その他の内訳】

・結婚できるか ・治療費 ・災害 ・母親の介護

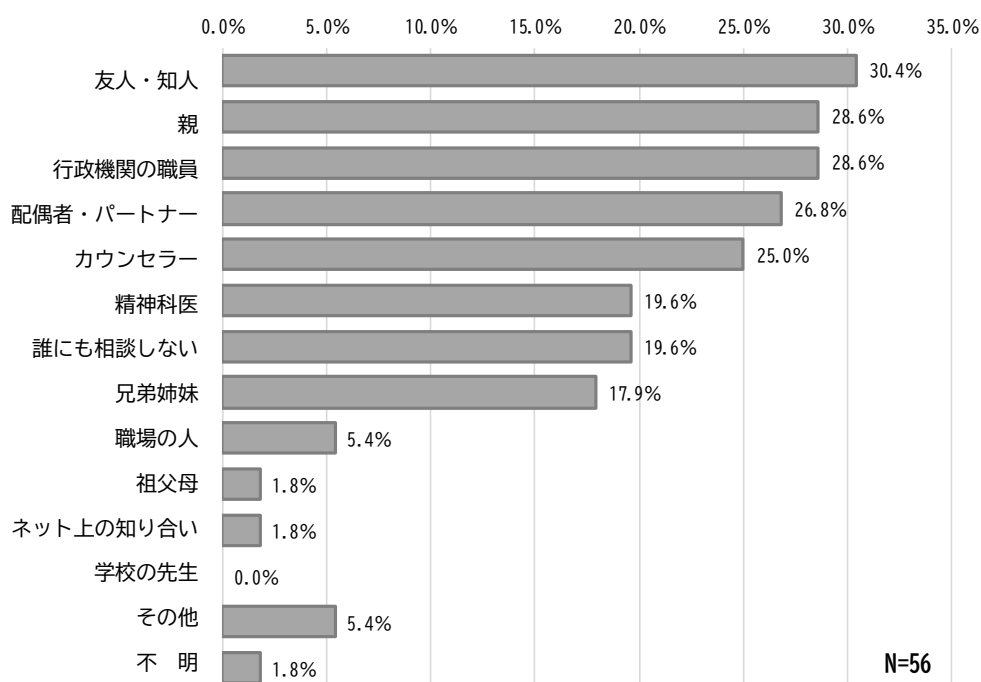
年代や立場別でも、どの属性も「収入・生活資金」が最も高くなっています。

【不安に思っていること(立場別・回答者の年代別上位)】

	年代	N	(%)						
			収入・生活資金	自分の健康	仕事	家族の健康	生きがい	家事や身の回りのこと	その他
当事者・経験者	10-20歳代	4	100.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0
	30-40歳代	10	90.0	50.0	50.0	40.0	30.0	20.0	20.0
	50歳以上	5	80.0	40.0	40.0	40.0	40.0		
家族	10-40歳代	3	66.7	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3
	50-60歳代	21	85.7	61.9	57.1	52.4	47.6	38.1	
	70歳以上	13	69.2	46.2	46.2	38.5	30.8		

問11 あなたが日常生活の心配ごとや悩みごとを相談する人をすべて選んでください。(経験者の方は、当時の状況をお答えください)(複数回答)

悩みを相談する人では、「友人・知人」が30.4%で最も高く、次いで「親」と「行政機関の職員」が28.6%となっています。一方、「誰にも相談しない」は19.6%となっています。



【その他の内訳】

・サポートステーション ・娘 ・地域包括支援センターと子ども

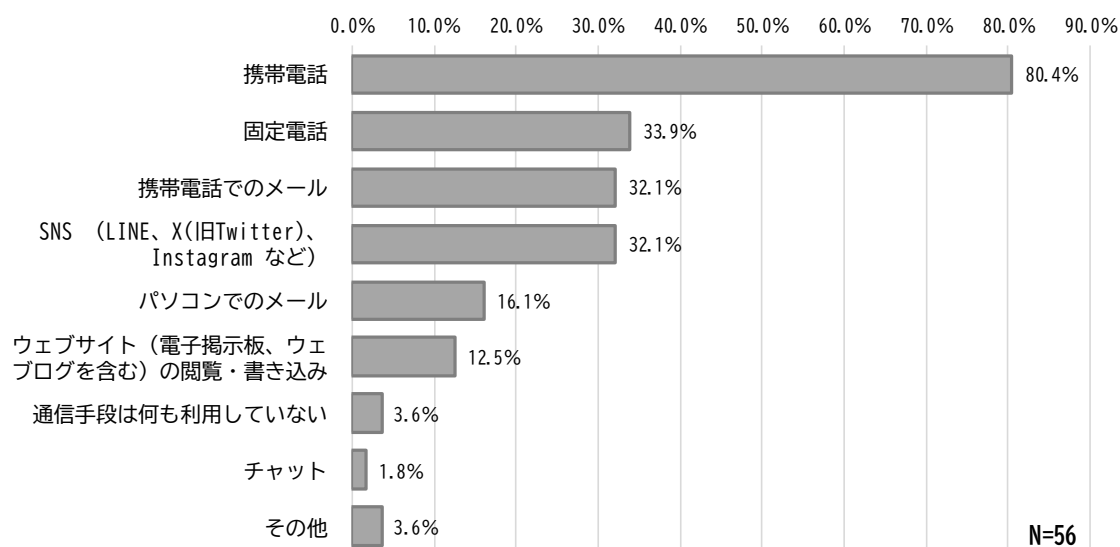
立場別では、当事者・経験者は「親」が42.1%で最も高く、次いで「誰にも相談しない」が36.8%となっています。家族は「配偶者・パートナー」が40.5%で最も高く、次いで「友人・知人」と「行政機関の職員」が37.8%となっています。

【日常生活の心配ごとや悩みごとを相談する人（立場別上位）】

N=		(%)				
当事者・ 経験者	19	親	誰にも 相談しない	精神科医	友人・知人	カウンセラー
		42.1	36.8	21.1	15.8	15.8
家族	37	配偶者・ パートナー	友人・知人	行政機関の職員	カウンセラー	兄弟姉妹
		40.5	37.8	37.8	29.7	24.3

問12 あなたが普段利用している通信手段をすべて選んでください。(経験者の方は、当時の状況をお答えください) (複数回答)

普段利用している通信手段では、「携帯電話」が 80.4%で最も高く、次いで「固定電話」が 33.9%、「携帯電話でのメール」と「SNS」が 32.1%となっています。



【その他の内訳】

・全く無い ・手紙

立場別では、当事者・経験者は「SNS」が 42.1%と家族の 27.0%から約 15 ポイント高くなっています。一方「携帯電話」や「固定電話」といった、会話をしてコミュニケーションを取る通信手段の割合は、家族は当事者・経験者より 10 ポイント以上高くなっています。

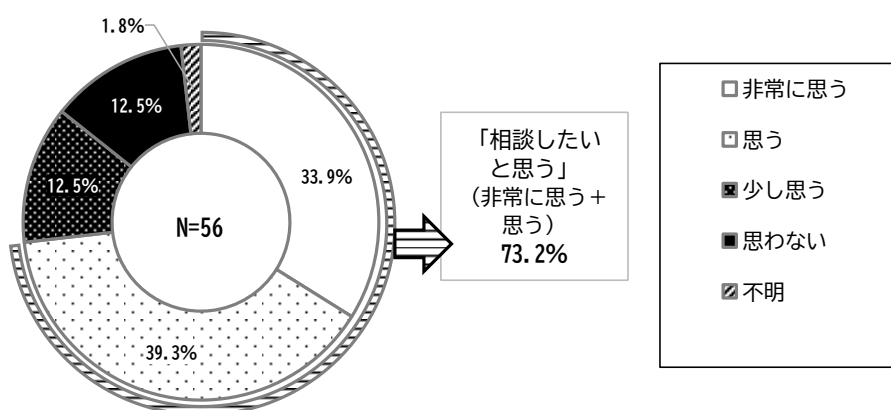
【普段利用している通信手段 (立場別上位)】

	N=						(%)
		携帯電話	SNS	固定電話	携帯電話でのメール	パソコンでのメール	ウェブサイトの閲覧・書き込み
当事者・経験者	19	68.4	42.1	26.3	21.1	21.1	21.1
家族	37	86.5	37.8	37.8	27.0	13.5	

⑥ 支援

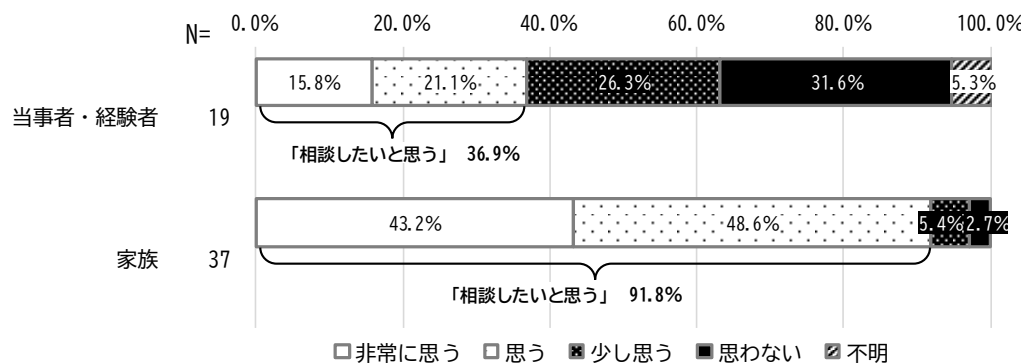
問13 あなたは、ひきこもりについて、支援機関に相談したいと思いますか？

支援機関に相談したいと思うかでは、「非常に思う」と「思う」を合わせると、「相談したいと思う」のは73.2%となっています。一方「思わない」は12.5%となっています。



立場別では、当事者・経験者は「非常に思う」と「思う」を合わせると、「相談したいと思う」のは36.9%で、家族は91.8%となっています。

【ひきこもりについて、支援機関に相談したいと思いますか？(立場別)】



当事者の年代別では、「非常に思う」と「思う」を合わせると、「相談したいと思う」のは10-20歳代が89.4%で最も高く、年齢が上がるにつれて相談したいと思う割合が低下しています。

ひきこもり期間が5年以上になると、相談したいと「非常に思う」が約10ポイント増加する一方、相談したいと「思わない」も10ポイント以上増加しています。

現在の困り事の有無では、困り事があるほうが、困り事がないより「相談したいと思う」が14.4ポイント高くなっています。

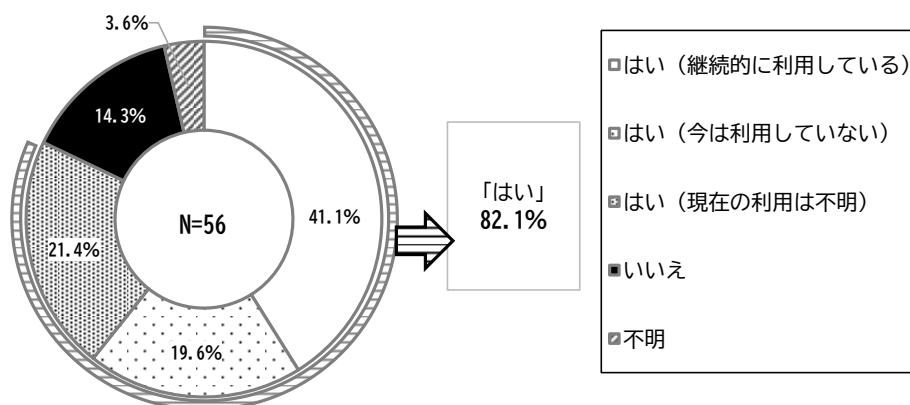
【ひきこもりについて、支援機関に相談したいと思いますか？】
(年代・期間・困り事の有無別)

		N=	非常に 思う	思う	少し思う	思わない	不明	(%) 「相談した いと思う」 (非常に思う +思う)
合計		56	33.9	39.3	12.5	12.5	1.8	73.2
当事者の 年代	10-20歳代	19	36.8	52.6	10.5	0.0	0.0	89.4
	30-40歳代	24	37.5	29.2	12.5	20.8	0.0	66.7
	50歳以上	13	23.1	38.5	15.4	15.4	7.7	61.6
ひきこもり 期間	5年未満	27	29.6	44.4	18.5	7.4	0.0	74.0
	5年以上	28	39.3	32.1	7.1	17.9	3.6	71.4
現在の 困り事	ある	43	34.9	39.5	14.0	9.3	2.3	74.4
	ない	10	20.0	40.0	10.0	30.0	0.0	60.0

※ひきこもり期間・現在の困り事の設問では回答不明があるため合計が集計母数の56になりません

問14 あなたは、ひきこもりについて支援機関や医療機関を利用したことはありますか？

支援機関や医療機関の利用経験では、現在の利用状況に関わらず、「はい」は82.1%となり、「継続的に利用している」は41.1%となっています。



立場別では、「はい」は当事者が54.6%、経験者が87.5%、家族が89.1%で、経験者と家族は当事者より30ポイント以上高くなっています。そのうち、「継続的に利用している」経験者は62.5%で、当事者や家族より20ポイント以上高くなっています。

当事者の年代別では、10-20歳代は30-40歳代や50歳以上より「はい」が10ポイント以上高くなっています。

現在の困り事の有無では、困り事があるほうが、困り事がないより「継続的に利用している」が40ポイント以上高くなっています。

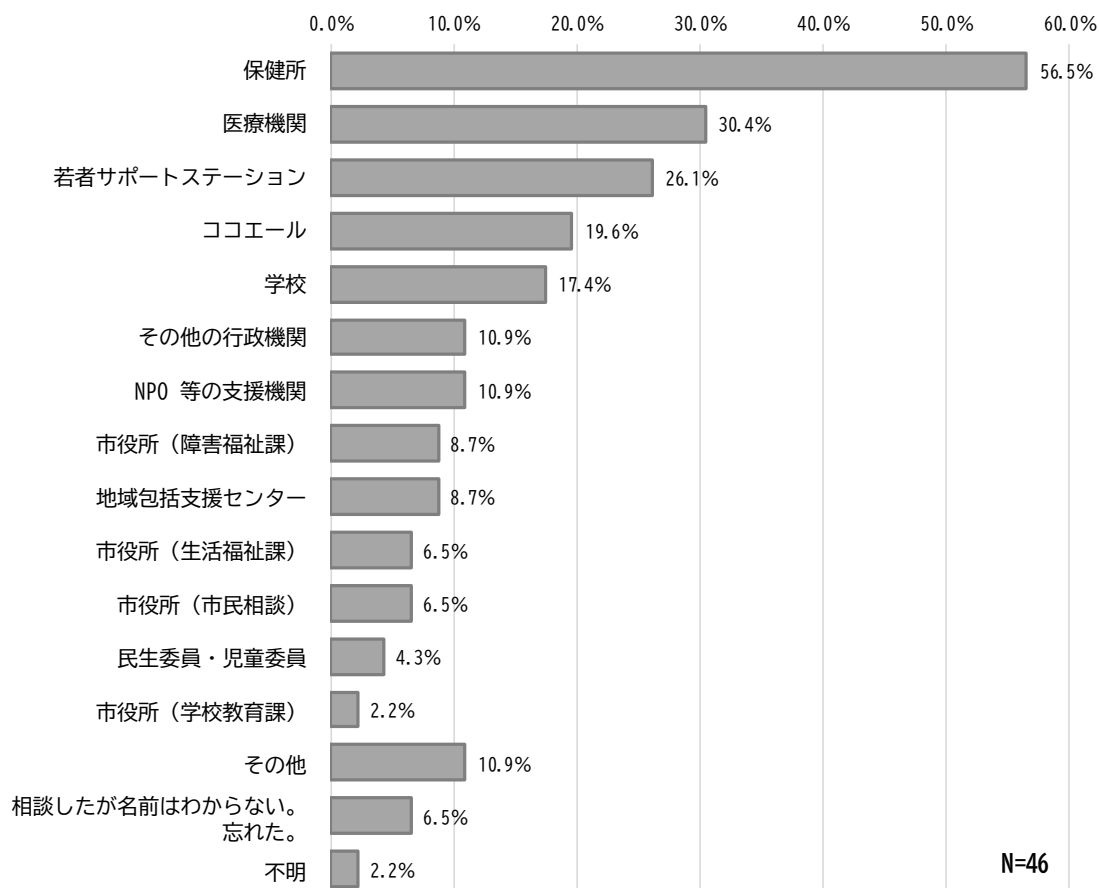
【ひきこもりについて支援機関や医療機関を利用したことはありますか？】
(立場・年代・期間・困り事の有無別)

		N=	はい			はい計	いいえ	不明
			継続的に利用している	今は利用していない	現在の利用は不明			
合計		56	41.1	19.6	21.4	82.1	14.3	3.6
立場	当事者	11	36.4	9.1	9.1	54.6	36.4	9.1
	経験者	8	62.5	25.0	0.0	87.5	12.5	0.0
	家族	37	37.8	21.6	29.7	89.1	8.1	2.7
当事者の年代	10-20歳代	19	47.4	31.6	15.8	94.8	5.3	0.0
	30-40歳代	24	37.5	12.5	29.2	79.2	16.7	4.2
	50歳以上	13	38.5	15.4	15.4	69.3	23.1	7.7
ひきこもり期間	5年未満	27	37.0	25.9	18.5	81.4	18.5	0.0
	5年以上	28	42.9	14.3	25.0	82.2	10.7	7.1
現在の困り事	ある	43	51.2	16.3	20.9	88.4	11.6	0.0
	ない	10	10.0	30.0	20.0	60.0	30.0	10.0

※ひきこもり期間・現在の困り事の設問では回答不明があるため合計が集計母数の56になりません

問15 あなたはどのようなところで相談されて（支援を受けて）いましたか？（経験者の方は、当時の状況をお答えください）（複数回答）

相談や支援を受けた機関では、「保健所」が 56.5%で最も高く、次いで「医療機関」が 30.4%、「若者サポートステーション」が 26.1%となっています。



【その他の内訳】

・社会福祉士 ・愛知県ひきこもり相談窓口、市役所長寿介護課、福祉政策課

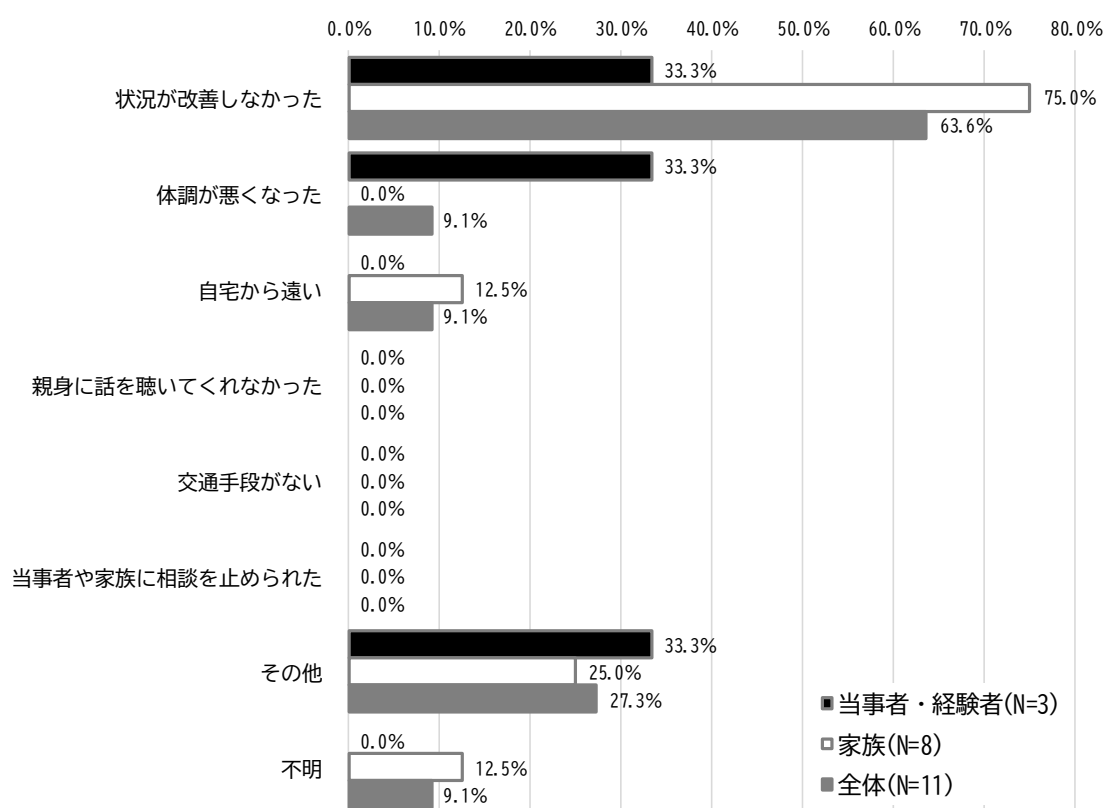
立場別では、当事者・経験者は「若者サポートステーション」が 46.2%で最も高く、次いで「医療機関」が 23.1%、「保健所」と「その他」が 15.4%となっています。家族は、「保健所」が 72.7%で最も高く、次いで「医療機関」が 33.3%、「ココエール」が 27.3%となっています。

【相談や支援を受けたところ（立場別上位）】

当事者・経験者	N=	（%）								
		若者サポートステーション	医療機関	保健所	その他	市役所（生活福祉課）	市役所（市民相談）	その他の行政機関	地域包括支援センター	NPO 等の支援機関
	13	46.2	23.1	15.4	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7
家族	33	保健所	医療機関	ココエール	学校	若者サポートステーション				
		72.7	33.3	27.3	24.2	18.2				

問16 問 14 で「今は利用していない」を選んだ方にお尋ねします。今は利用していない理由をすべて教えてください。(経験者の方は、当時の状況をお答えください)
(複数回答)

支援機関を現在利用していない理由では、「状況が改善しなかった」が63.6%で最も高くなっています。

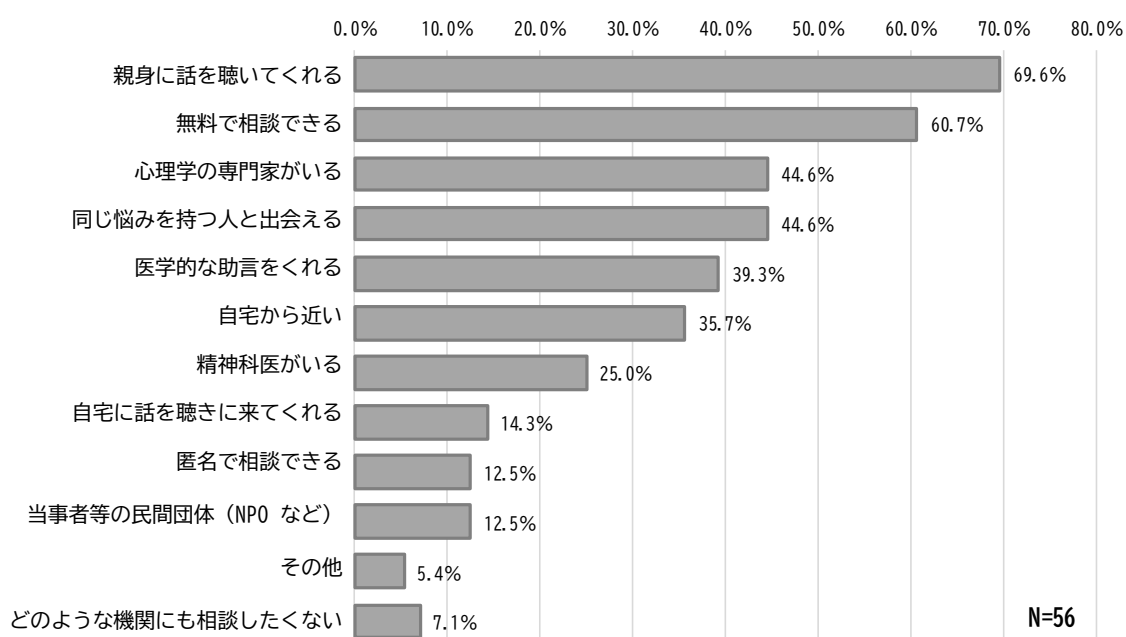


【その他の内訳】

- ・だんだん外に出れなくなるのが強くなっていった。(家族)
- ・コロナ禍の為自粛した。(家族)

問17 あなたは現在の状況について、関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら、相談したいと思いますか？すべて選んでください。（経験者の方は、当時の状況をお答えください）
（複数回答）

相談したい機関では、「親身に話を聴いてくれる」が69.6%で最も高く、次いで「無料で相談できる」が60.7%、「心理学の専門家がいる」と「同じ悩みを持つ人と出会える」が44.6%となっています。



【その他の内訳】

・弁護士 ・8050 問題を解決してくれる ・家族以外の人に会う事が出来ない場合はどうしたらいいか

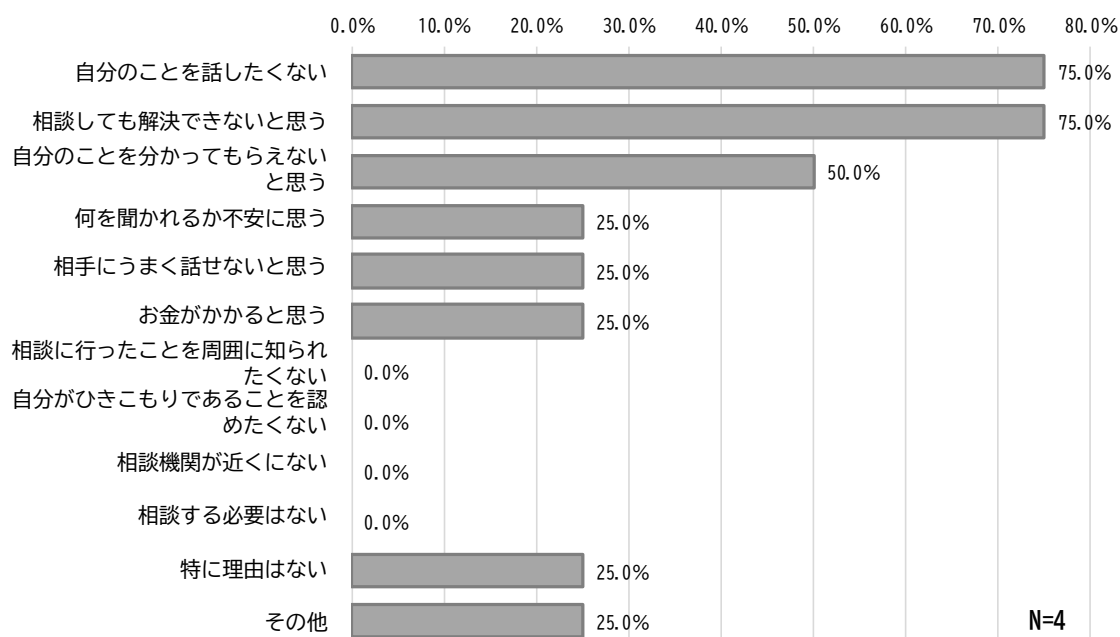
立場別では、「親身に話を聴いてくれる」が当事者・経験者、家族ともに最も高くなっています。

【相談したい関係機関（立場別上位）】

	N=	(%)				
当事者・経験者	19	親身に話を聴いてくれる	無料で相談できる	医学的な助言をくれる	心理学の専門家がいる	同じ悩みを持つ人と出会える
		84.2	68.4	31.6	31.6	31.6
家族	37	親身に話を聴いてくれる	無料で相談できる	心理学の専門家がいる	同じ悩みを持つ人と出会える	医学的な助言をくれる
		62.2	56.8	51.4	51.4	43.2

問18 問 17 で「どのような機関にも相談したくない」と回答された方にお尋ねします。相談したくないと思う理由についてすべて選んでください。(複数回答)

どのような機関にも相談したくないと答えた人の相談したくない理由では、「自分の事を話したくない」「相談しても解決できないと思う」が75.0%で最も高く、次いで「自分のことをわかってもらえないと思う」が50.0%となっています。

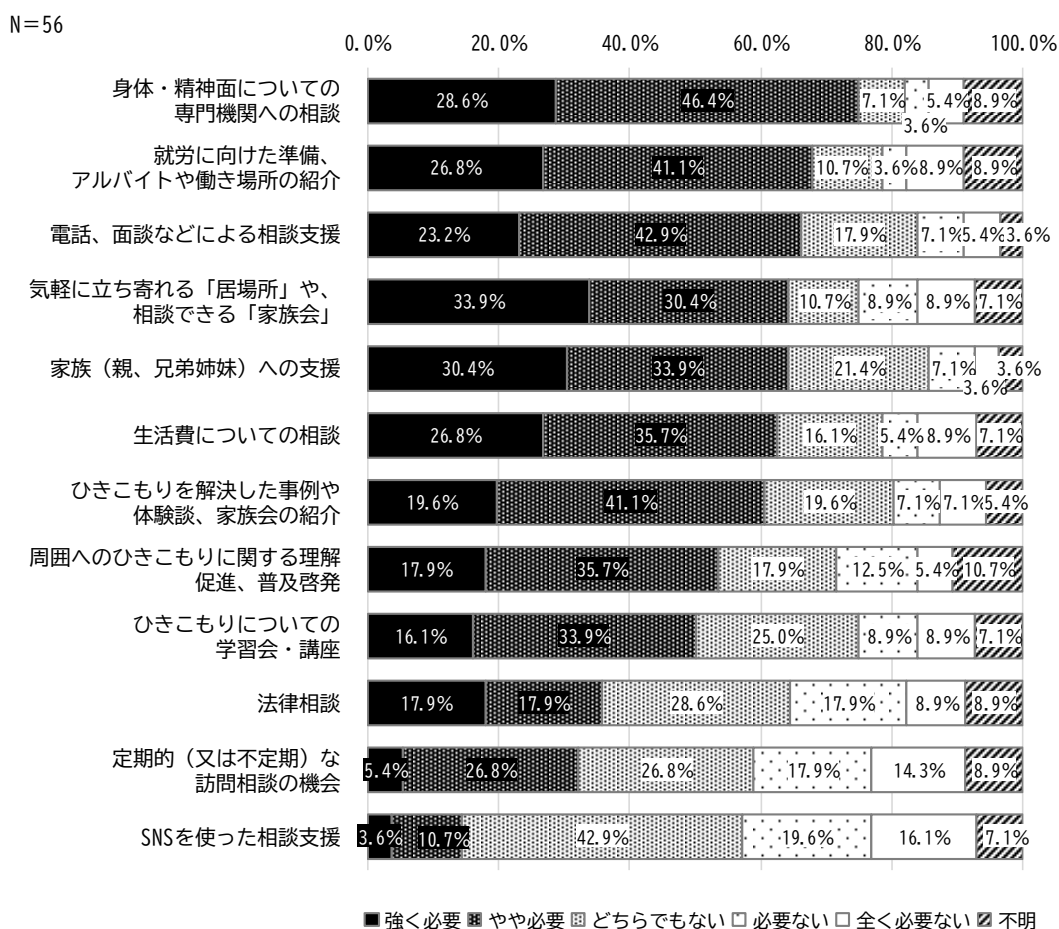


【その他の内訳】

- ・信用できない

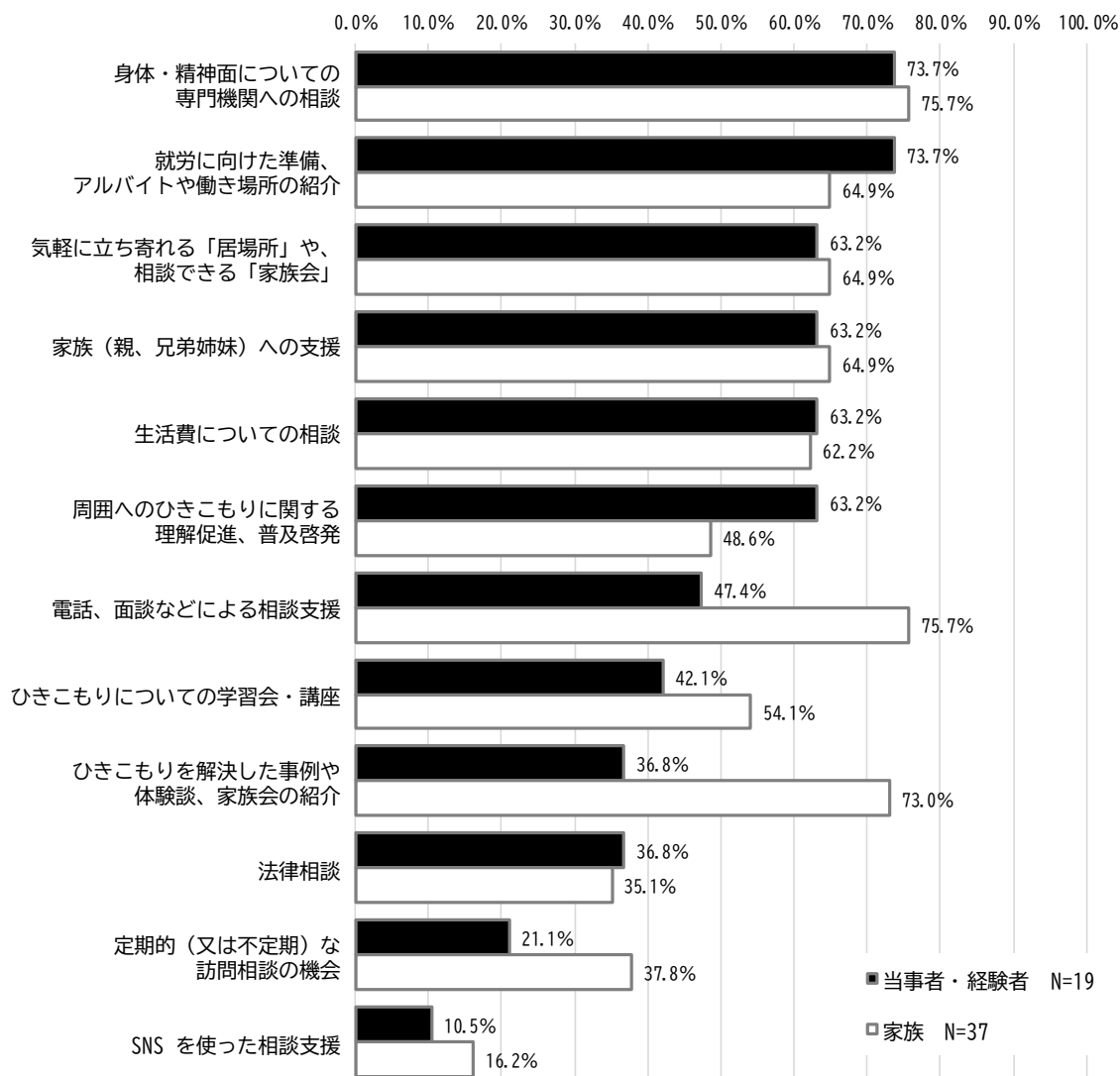
問19 あなたにとってどの支援がどれくらい必要か、当てはまるものを選んでください。（経験者の方は、当時の状況をお答えください）

必要な支援の内容では、「強く必要」と「やや必要」を合わせると「身体・精神面についての専門機関への相談」が75.0%で最も高く、次いで「就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介」が67.9%、「電話、面談などによる相談支援」が66.1%となっています。



立場別に必要な支援では、当事者・経験者では「身体・精神面についての専門機関への相談」と「就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介」が73.7%と高くなっています。また、「家族（親、兄弟姉妹）への支援」が63.2%となっています。家族は「身体・精神面についての専門機関への相談」と「電話、面談などによる相談支援」が75.7%と高くなっています。

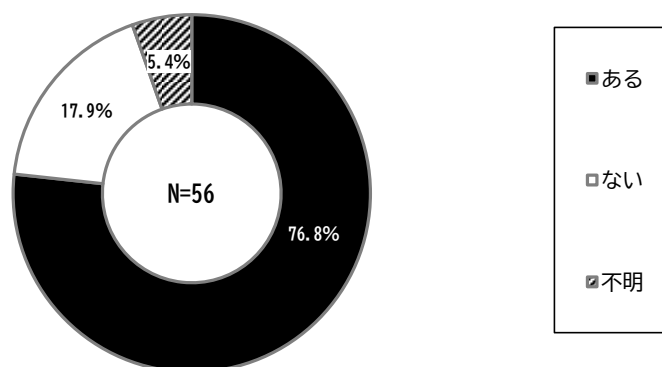
【必要（強く必要+やや必要）な支援（立場別）】



⑦ 現在の困り事

問20 あなたが今、一番困っていることがありますか？自由にお書きください。

現在の困り事の有無では、「ある」が76.8%、「ない」が17.9%となっています。



【主な「困っていること」の内訳】

当事者

- ・生活費、治療費などの金銭面 (3件)
- ・就労するなど社会復帰したい (3件)
- ・相談先がない、相談できない (3件)
- ・ところやメンタルの状態 (1件)

経験者

- ・相談先がない、相談できない (3件)
- ・ところやメンタルの状態 (1件)
- ・金銭(生活費・治療費)等 (1件)
- ・世間の目 (1件)
- ・体調、健康状態 (1件)

家族

- ・当事者とコミュニケーションが取れない (5件)
- ・当事者のところやメンタルの状態 (5件)
- ・自分で当事者のサポートができなくなった後のこと (3件)
- ・当事者の体調、健康状態 (2件)
- ・当事者が生活保護を受けてくれない (2件)
- ・当事者が外出できない (2件)
- ・家族のストレス (1件)
- ・相談する時間がない (1件)
- ・社会的な受け皿がない (1件)
- ・世間の目 (1件)
- ・当事者の就労 (1件)
- ・当事者が身の回りのことができない (1件)

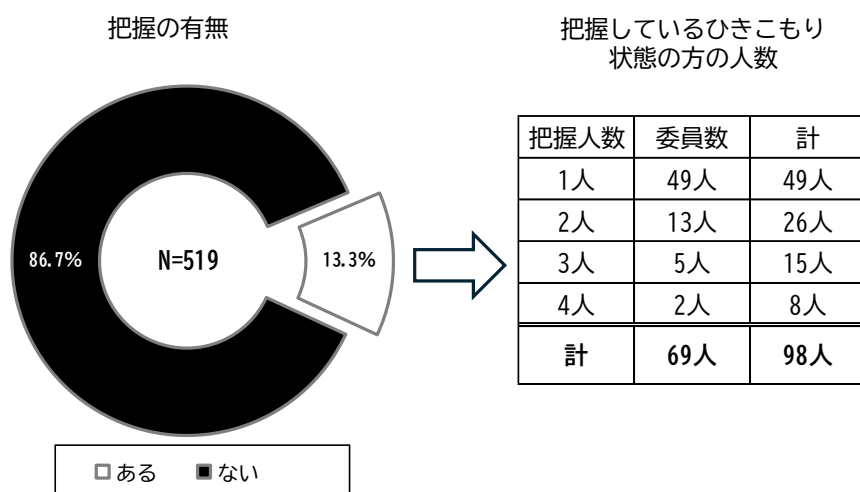
4 調査結果（民生委員・児童委員）

① ひきこもりの認知

問1 あなたの受け持ち地区で、ひきこもり状態にあると思われる方はいますか？

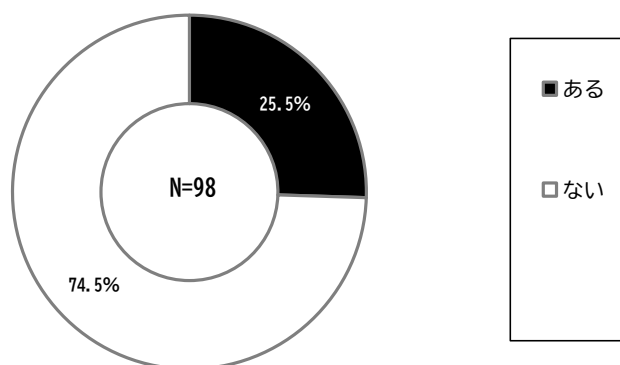
問2 あなたの受け持ち地区で、ひきこもり状態にあると思われる方の人数をご記入下さい。

民生委員・児童委員のうち、受け持ち地区でひきこもり状態の方を把握している委員は13.3%で、把握しているひきこもり状態の方は98人となっています。



問3-1 ご家族の方から相談を受けるなど、実際に関わったことがありますか？

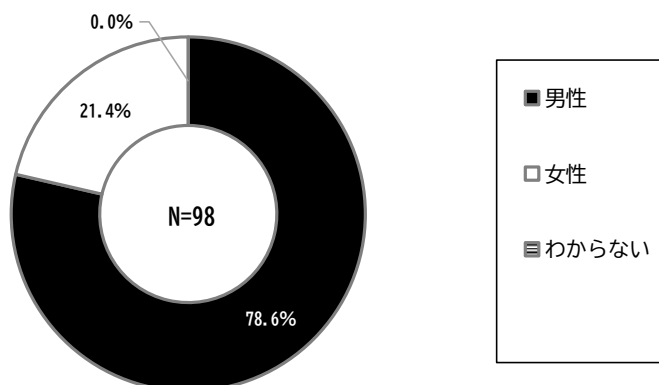
把握しているひきこもり状態の方うち、委員が実際に関わったことがあるのは25.5%となっています。



② ひきこもり当事者のプロフィール

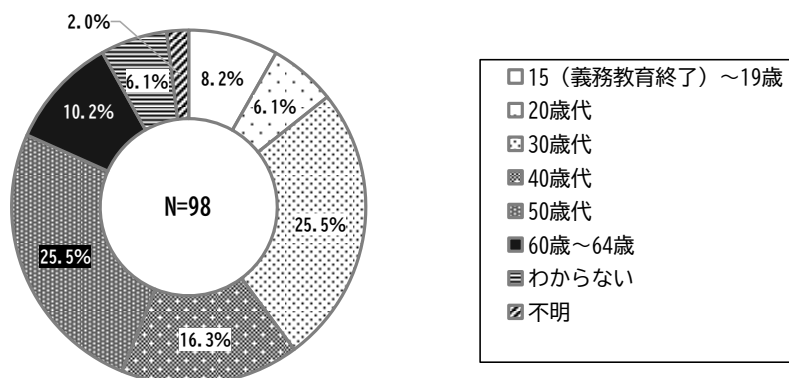
問 3-2 ひきこもりの状態にあると思われる方の性別

ひきこもり状態の方の性別では、「男性」が78.6%、「女性」が21.4%となっています。



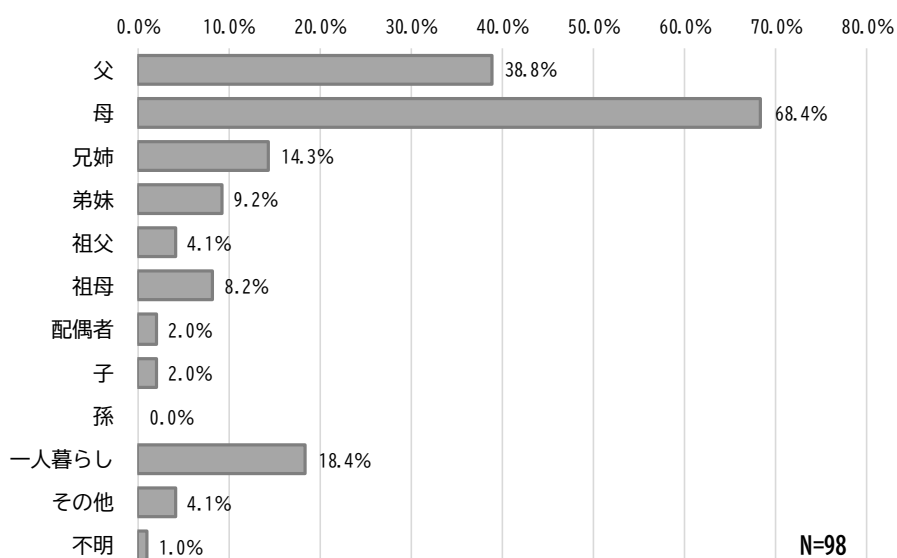
問 3-3 ひきこもりの状態にあると思われる方の年代

ひきこもり状態の方の年代では、「30 歳代」と「50 歳代」が 25.5%で最も高く、次いで「40 歳代」が 16.3%、「60 歳～64 歳」が 10.2%となっています。



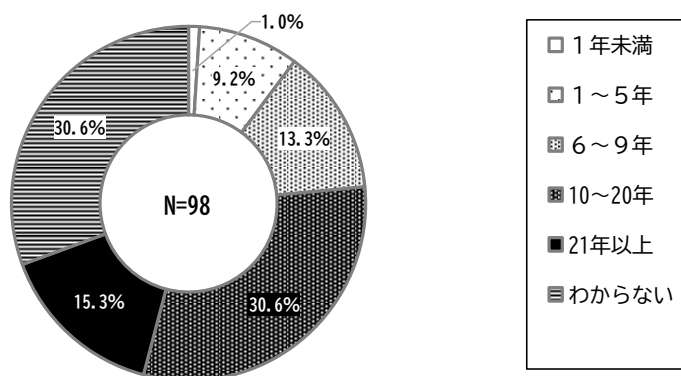
問 3-4 ひきこもりの状態にあると思われる方の同居家族（複数回答）

ひきこもり状態の方の同居家族では、「母」が 68.4%で最も高く、次いで「父」が 38.8%、「一人暮らし」が 18.4%となっています。



問 3-5 ひきこもりの状態の期間

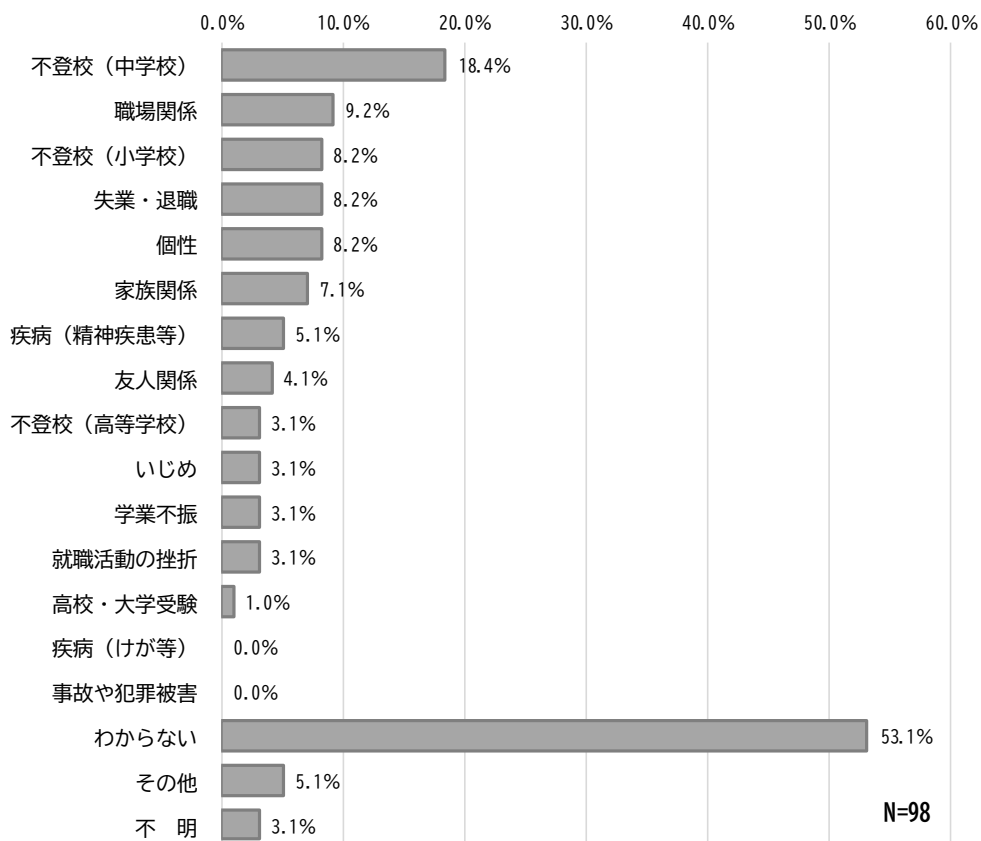
ひきこもり期間では、「10年～20年」と「わからない」が 30.6%で最も高く、次いで「21年以上」が 15.3%、「6～9年」が 13.3%となっています。



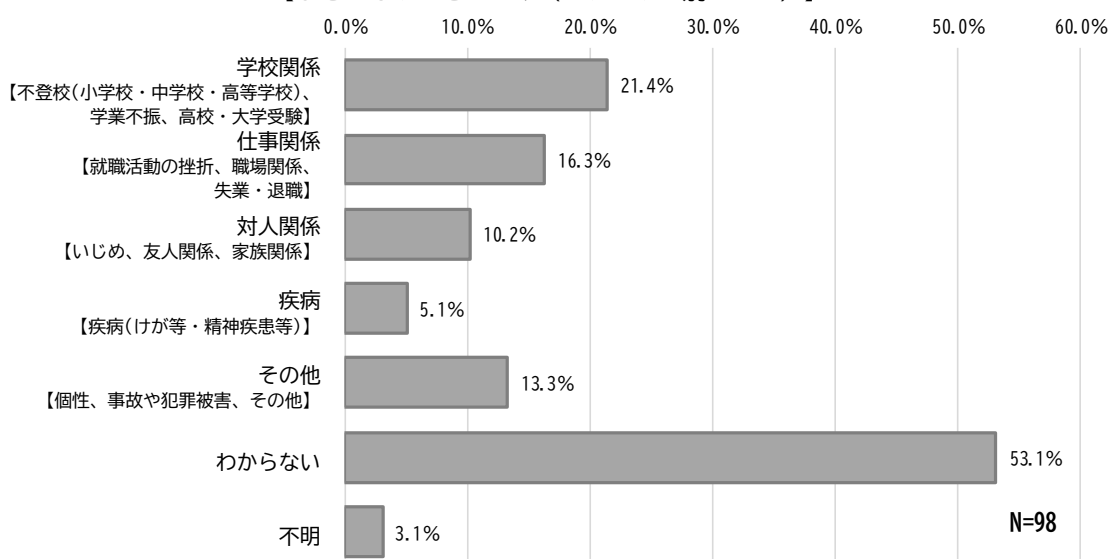
③ ひきこもり当事者の状態

問 3-6 ひきこもりの状態になったきっかけ（複数回答）

ひきこもり状態になったきっかけでは、「わからない」が53.1%で最も高く、次いで「不登校（中学校）」が18.4%、「職場関係」が9.2%となっています。



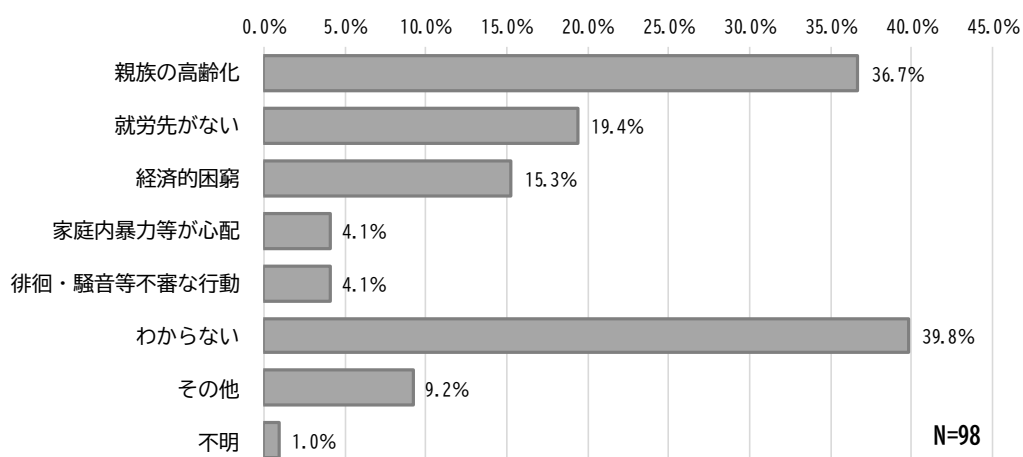
【ひきこもりのきっかけ（カテゴリー別まとめ）】



※カテゴリー内のいずれかの選択肢を回答した者の割合を集計したもので、カテゴリー内の選択肢の割合の和ではありません。

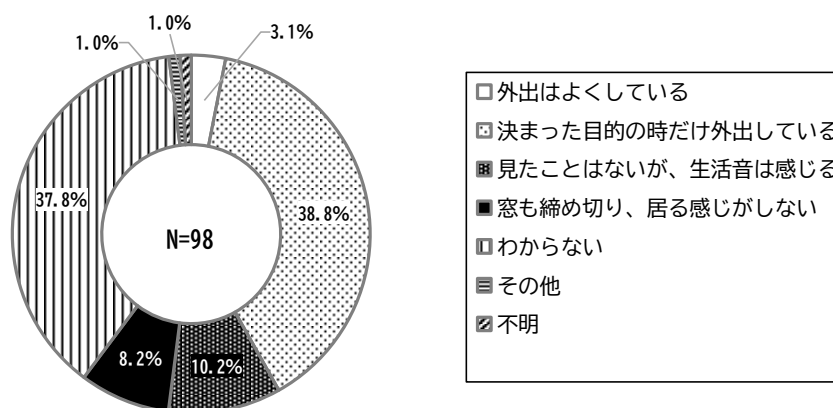
問 3-7 問題点をあげるとしたら（複数回答）

ひきこもり状態にある方に関する問題点では、「わからない」が 39.8%で最も高く、次いで「親族の高齢化」が 36.7%、「就労先がない」が 19.4%となっています。



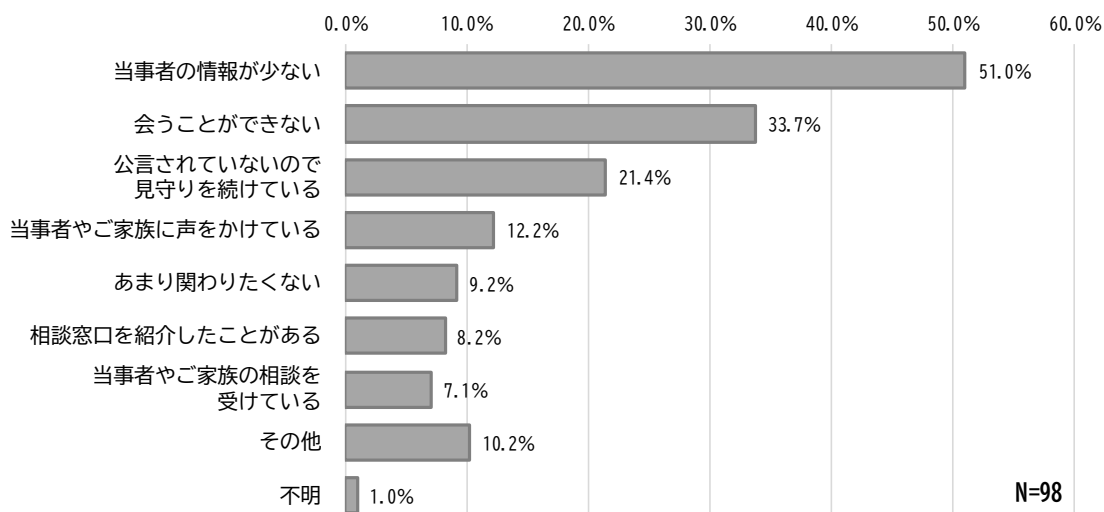
問 3-8 ひきこもり状態の度合い

ひきこもり状態の度合いでは、「決まった目的の時だけ外出している」が 38.8%で最も高く、次いで「わからない」が 37.8%、「見たことはないが、生活音は感じる」が 10.2%となっています。



問3-9 ひきこもりの状態にある方への関わりについて（複数回答）

ひきこもり状態にある方への関わりでは、「当事者の情報が少ない」が51.0%で最も高く、次いで「会うことができない」が33.7%、「公言されていないので見守りを続けている」が21.4%となっています。



問4 行政に対してご意見等がございましたらご自由にご記入ください。

（具体的な問題、心配ごと等なんでも構いません）

【回答の抜粋】

支援したいが動けない

- 家族や本人が支援や相談を拒否 (3件)
- 家族から動きがなければこちらから動けない (2件)
- 家族や本人から聞いた訳ではないのでどこまで関わったらよいかわからない (2件)
- 家族や本人に改善意志がない、危機感がない (2件)
- 親が実情を話さない (1件)
- 親は支援要請しているが本人が動かない (1件)
- 本人が動くまで家族が見守っている (1件)

情報が得られない

- 当事者の情報が得られないので動けない (5件)
- 情報がなく実態の把握は難しい (2件)
- どう対応したらよいかわからない (2件)
- アパートやマンションの居住者状況が把握できない (1件)
- 行政が把握している情報が民生に共有されない (1件)

支援や相談を受けての感想

- 見守っているが今後が心配 (2件)
- 社協の福祉相談サポートセンターに相談を持ちかけて対処しているが、なかなか進展がみられない (1件)

行政等への意見

- 小中学校との情報の共有 (1件)
- 家庭内の問題を行政側から働きかけることは難しい (1件)
- 社会はひとりひとりの働きで支え合っていく必要がある (1件)
- 民生委員では把握できないので、自治会組織の中で、福祉関係の枠組を作るべき (1件)
- 民生委員として出来ることは限界もあるが、声かけ程度は可能だと思っている。 (1件)

5 総括

(1) ひきこもり支援ニーズアンケート【当事者又は経験者及び家族】

①回答者のプロフィール

- ・回答者の立場は「当事者・経験者」が33.9%、「家族」が66.1%となっています。

②当事者のプロフィール

- ・当事者の年齢は「20歳代」と「30歳代」が23.2%で最も高くなっています。
- ・当事者の性別は「男性」が85.7%、「女性」が14.3%となっています。
- ・ひきこもり状態になった時期は10-20歳代が78.6%となっています。
- ・ひきこもり期間は「1～5年」が39.3%で最も高く、6年以上は50.0%となっています。

③ひきこもり当事者のこころの健康状態

- ・当事者にこころの健康状態の不調があるのは46.5%で、不調の内容は「イライラが強いことがある」が73.1%で最も高く、次いで「ひどく気分が沈むことがある」が61.5%、「人の視線が気になる・怖いときがある」が53.8%となっています。

④ひきこもりのきっかけ

- ・立場別では当事者・経験者は「仕事関係」が47.4%で最も高く、次いで「学校関係」と「疾病」が36.8%となっています。家族は「学校関係」と「対人関係」が48.6%で最も高く、次いで「疾病」が45.9%となっています。
- ・年代別では、10-20歳代では「不登校（中学校）」が42.1%、30-40歳代では「就職活動の挫折」と「疾病（精神疾患等）」が33.3%、50歳以上では「職場関係」と「疾病（精神疾患等）」が46.2%で最も高くなっています。

⑤不安や悩み

- ・不安に思っていることは「収入・生活資金」が82.1%となっています。
- ・悩みを相談する人は、当事者・経験者は「親」が42.1%で、家族は「配偶者・パートナー」が40.5%で最も高くなっています。当事者・経験者では「誰にも相談しない」が36.8%となっています。
- ・普段利用している通信手段は「携帯電話」が80.4%となっています。立場別では、当事者・経験者は「SNS」が42.1%と家族の27.0%から約15ポイント高くなっています。

⑥支援

- ・支援機関に相談したいと思うのは全体では73.2%で、家族は91.8%に対し、当事者・経験者は36.9%となっています。当事者の年代別では、相談したいと思うのは10-20歳代が89.4%で最も高く、年齢が上がるにつれて相談したいと思う割合が低下しています。

- 支援機関や医療機関の利用経験は 82.1%で、具体的な機関は「保健所」が 56.5%で最も高くなっています。現在は利用していない理由は「状況が改善しなかった」が 63.6%で最も高くなっています。
- 相談したい関係機関は、「親身に話を聞いてくれる」が 69.6%となっています。
- どの機関にも相談したくない理由は「自分のことを話したくない」、「相談しても解決できないと思う」が 75.0%となっています。
- 必要な支援について立場別では、当事者・経験者では「身体・精神面についての専門機関への相談」と「就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介」が 73.7%と高くなっています。また、「家族（親、兄弟姉妹）への支援」が 63.2%となっています。家族は「身体・精神面についての専門機関への相談」と「電話、面談などによる相談支援」が 75.7%と高くなっています。

⑦現在の困りごと

- 現在困っていることがあるのは 76.8%となっています。

(2) ひきこもりに関するアンケート【民生委員・児童委員】

①ひきこもりの認知

- 民生委員・児童委員のうち、ひきこもり状態を把握している委員は 13.3%で、ひきこもり状態の方は 98 人となっています。
- 把握しているひきこもり状態の方のうち、実際に委員が関わったのは 25.5%となっています。

②ひきこもり当事者のプロフィール

- ひきこもり状態の方について、性別は、「男性」が 78.6%、「女性」が 21.4%となっています。年代は「30 歳代」と「50 歳代」が 25.5%で最も高くなっており、同居家族は「母」が 68.4%で最も高く、「一人暮らし」は 18.4%となっています。ひきこもり期間は「10~20 年」と「わからない」が 30.6%で最も高くなっています。

③ひきこもり当事者の状態

- ひきこもり状態になったきっかけは「わからない」が 53.1%で、把握しているものでは「不登校（中学校）」が 18.4%で最も高くなっています。
- ひきこもり状態にある方に関する問題点は「わからない」が 39.8%で最も高く、具体的なものでは「親族の高齢化」が 36.7%で最も高くなっています。
- ひきこもりの度合いは「決まった目的のときだけ外出している」が 38.8%で最も高くなっています。
- ひきこもり状態にある方への関わりについて、「当事者の情報が少ない」が 51.0%となっています。

6 資料編

① 調査票（当事者又は経験者及び家族）

ひきこもりに関するアンケートのお願い ～ひきこもりの当事者又は経験者、その家族の皆さまへのアンケート～

このアンケートは、ひきこもりの当事者又は経験者及びその家族の皆様の実情や思いをお聞きし、今後のひきこもり支援に生かすことを目的に豊橋市が実施するものです。

本アンケートの結果は、報告書やホームページなどを通して公表させていただきますが、皆様のご意見は調査対象者が特定されないように全体集計します。また、**回答内容や個人情報**が上記の目的以外に使用されたり、外部に漏れたりすることは**ありません。**

本アンケートの趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

ご記入に際してのお願い

1. 質問は、番号順にお答えください。
回答に迷う場合は、あなたの気持ち、考えに近いものをお選びください。
2. 「その他」と回答した場合は、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。

このアンケートは、オンラインでも回答することができます。
オンラインでの回答を希望する方は、右の二次元コードから回答フォームへアクセスしてください。
ご家族の方が回答される場合で、ひきこもり状態の方複数名について回答いただく場合は、1人ずつ別のアンケート用紙に回答してください。
(オンラインの場合もそれぞれの方について複数回アクセスし回答してください。)

こちらからも
回答できます!!



アンケートは令和6年10月10日(木)までにお答えください。

※オンラインの回答期限は9月末までとなります。

(紙でお答えいただいた場合は同封の返信用封筒にて、上記期限までにご返送ください。)

★この調査は、おおむね15歳から64歳までの方で、次に該当するような方を「ひきこもりの状態にある方」とします。

- ①仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態の方
 - ②仕事や学校に行かず、時々買い物などで外出することはあるが、6か月以上続けて家族以外の人との交流はない方
- ※ただし、重度の障害等で外出できない方は除きます。

問い合わせ先

豊橋市保健所 健康増進課 TEL 0532-39-9145

電話受付時間 8:30～17:00 (平日のみ)

※無記名での調査となりますので、アンケート提出後は返却できません。

ひきこもり支援ニーズアンケート【当事者または経験者と家族用】

質問1	あなたの現在の年齢を教えてください。	<input type="checkbox"/> 15（義務教育終了）～19歳 <input type="checkbox"/> 20歳代 <input type="checkbox"/> 30歳代 <input type="checkbox"/> 40歳代 <input type="checkbox"/> 50歳代 <input type="checkbox"/> 60歳代 <input type="checkbox"/> 70歳代 <input type="checkbox"/> 80歳代 <input type="checkbox"/> 90歳以上
質問2	あなたの立場を教えてください。	<input type="checkbox"/> 当事者 →質問4へ <input type="checkbox"/> 経験者 →質問4へ <input type="checkbox"/> 家族（父親） <input type="checkbox"/> 家族（母親） <input type="checkbox"/> 兄弟・姉妹 <input type="checkbox"/> その他（ ）
質問3	ひきこもり当事者の現在の年齢を教えてください。	<input type="checkbox"/> 15（義務教育終了）～19歳 <input type="checkbox"/> 20歳代 <input type="checkbox"/> 30歳代 <input type="checkbox"/> 40歳代 <input type="checkbox"/> 50歳代 <input type="checkbox"/> 60歳～64歳
質問4	ひきこもり当事者または経験者の性別を教えてください。	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> その他
質問5	最初にひきこもり状態になった時期を教えてください。	<input type="checkbox"/> 10代前半 <input type="checkbox"/> 10代後半 <input type="checkbox"/> 20代前半 <input type="checkbox"/> 20代後半 <input type="checkbox"/> 30代前半 <input type="checkbox"/> 30代後半 <input type="checkbox"/> 40代前半 <input type="checkbox"/> 40代後半 <input type="checkbox"/> 50歳以上
質問6	ひきこもり当事者または経験者のひきこもり期間（累計）を教えてください。	<input type="checkbox"/> 1年未満 <input type="checkbox"/> 1～5年 <input type="checkbox"/> 6～10年 <input type="checkbox"/> 11～15年 <input type="checkbox"/> 16～20年 <input type="checkbox"/> 21年以上 <input type="checkbox"/> わからない
質問7	ひきこもり当事者のこころの健康状態に不調を感じることがありますか。（経験者の方は現在の体調をお答えください）	<input type="checkbox"/> いつもある <input type="checkbox"/> よくある <input type="checkbox"/> たまにある <input type="checkbox"/> ほとんどない <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> わからない
質問8	質問7で「いつもある」「よくある」を選んだ方は、どのような不調を感じますか。あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答）	<input type="checkbox"/> イライラが強いことがある <input type="checkbox"/> ひどく気分が沈むことがある <input type="checkbox"/> 過食や拒食がある <input type="checkbox"/> 自分を傷つけたりすることがある <input type="checkbox"/> アルコールを飲み過ぎることがある <input type="checkbox"/> 2時間以上眠れないことがある <input type="checkbox"/> 同じ行動を繰り返したり、長い時間続けることがある <input type="checkbox"/> 睡眠薬などを大量に飲んでしまうことがある <input type="checkbox"/> 人の視線が気になる・怖いときがある <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> わからない
質問9	ひきこもり当事者または経験者のひきこもりのきっかけとなった(と思われる)ことをすべて選んでください。（複数回答）	<input type="checkbox"/> 不登校（小学校） <input type="checkbox"/> 不登校（中学校） <input type="checkbox"/> 不登校（高等学校） <input type="checkbox"/> いじめ <input type="checkbox"/> 学業不振 <input type="checkbox"/> 友人関係 <input type="checkbox"/> 家族関係 <input type="checkbox"/> 高校・大学受験 <input type="checkbox"/> 就職活動の挫折 <input type="checkbox"/> 職場関係 <input type="checkbox"/> 失業・退職 <input type="checkbox"/> 疾病（けが等） <input type="checkbox"/> 疾病（精神疾患等） <input type="checkbox"/> 個性 <input type="checkbox"/> 事故や犯罪被害 <input type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> その他（ ）

質問17	あなたは現在の状況について、関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら、相談したいと思いますか？すべて選んでください。 (複数回答) (経験者の方は、当時の状況をお答えください)	<input type="checkbox"/> 親身に話を聴いてくれる <input type="checkbox"/> 医学的な助言をくれる <input type="checkbox"/> 心理学の専門家がいる <input type="checkbox"/> 精神科医がいる <input type="checkbox"/> 同じ悩みを持つ人と出会える <input type="checkbox"/> 匿名で相談できる <input type="checkbox"/> 無料で相談できる <input type="checkbox"/> 自宅に話を聴きに来てくれる <input type="checkbox"/> 自宅から近い <input type="checkbox"/> 当事者等の民間団体 (NPOなど) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> どのような機関にも相談したくない																																																																														
質問18	質問17で「どのような機関にも相談したくない」と回答された方にお尋ねします。相談したくないと思う理由についてすべて選んでください。 (複数回答) (経験者の方は、当時の状況をお答えください)	<input type="checkbox"/> 相談に行ったことを周囲に知られたくない <input type="checkbox"/> 自分がひきこもりであることを認めたくない <input type="checkbox"/> 自分のことを話したくない <input type="checkbox"/> 相談しても解決できないと思う <input type="checkbox"/> 何を聞かれるか不安に思う <input type="checkbox"/> 自分のことを分かってもらえないと思う <input type="checkbox"/> 相手にうまく話せないと思う <input type="checkbox"/> お金がかかると思う <input type="checkbox"/> 相談機関が近くにない <input type="checkbox"/> 相談する必要はない <input type="checkbox"/> 特に理由はない <input type="checkbox"/> その他 ()																																																																														
質問19	右記の1～12について、あなたにとってどれくらい必要か、 当てはまる数字 を選んでください。 (経験者の方は、当時の状況をお答えください)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全く必要ない</th> <th>必要ない</th> <th>どちらでもない</th> <th>やや必要</th> <th>強く必要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電話、面談などによる相談支援</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>SNSを使った相談支援</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>気軽に立ち寄れる「居場所」や、相談できる「家族会」</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>生活費についての相談</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>身体・精神面についての専門機関への相談</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>定期的（又は不定期）な訪問相談の機会</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ひきこもりについての学習会・講座</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ひきこもりを解決した事例や体験談、家族会の紹介</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>周囲へのひきこもりに関する理解促進、普及啓発</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>法律相談</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>家族（親、兄弟姉妹）への支援</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>		全く必要ない	必要ない	どちらでもない	やや必要	強く必要	電話、面談などによる相談支援	1	2	3	4	5	SNSを使った相談支援	1	2	3	4	5	就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介	1	2	3	4	5	気軽に立ち寄れる「居場所」や、相談できる「家族会」	1	2	3	4	5	生活費についての相談	1	2	3	4	5	身体・精神面についての専門機関への相談	1	2	3	4	5	定期的（又は不定期）な訪問相談の機会	1	2	3	4	5	ひきこもりについての学習会・講座	1	2	3	4	5	ひきこもりを解決した事例や体験談、家族会の紹介	1	2	3	4	5	周囲へのひきこもりに関する理解促進、普及啓発	1	2	3	4	5	法律相談	1	2	3	4	5	家族（親、兄弟姉妹）への支援	1	2	3	4	5
	全く必要ない	必要ない	どちらでもない	やや必要	強く必要																																																																											
電話、面談などによる相談支援	1	2	3	4	5																																																																											
SNSを使った相談支援	1	2	3	4	5																																																																											
就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介	1	2	3	4	5																																																																											
気軽に立ち寄れる「居場所」や、相談できる「家族会」	1	2	3	4	5																																																																											
生活費についての相談	1	2	3	4	5																																																																											
身体・精神面についての専門機関への相談	1	2	3	4	5																																																																											
定期的（又は不定期）な訪問相談の機会	1	2	3	4	5																																																																											
ひきこもりについての学習会・講座	1	2	3	4	5																																																																											
ひきこもりを解決した事例や体験談、家族会の紹介	1	2	3	4	5																																																																											
周囲へのひきこもりに関する理解促進、普及啓発	1	2	3	4	5																																																																											
法律相談	1	2	3	4	5																																																																											
家族（親、兄弟姉妹）への支援	1	2	3	4	5																																																																											
質問20	あなたが今、一番困っていることがありますか？自由にお書きください。 (経験者の方は、当時の状況をお答えください)	<input type="checkbox"/> ある (どんなことですか？) <input type="checkbox"/> ない																																																																														

質問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

あなたが、ひきこもりについて相談できる機関はたくさんあります。

ひとりで悩まないで誰かに相談してみませんか？

少しでも心穏やかに過ごせるように、相談できる場所を見つけてください。

② 調査票（民生委員・児童委員）

令和6年度

豊橋市保健所 健康増進課

ひきこもりに関するアンケート（調査票）

- 1 目的
地域の支援（関わり）状況を把握し、今後のひきこもり支援への参考とします。
- 2 調査の対象
おおむね15歳から64歳までの方で、
次に該当するような方を「ひきこもりの状態にある方」とします。
 - ① 仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、
6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態の方
 - ② 仕事や学校に行かず、時々買い物などで外出することはあるが、
6か月以上続けて家族以外の人との交流はない方※ただし、ひきこもりの原因が明らかに障害（知的・身体・精神）や疾病による場合は対象から除きます。その判断が難しい場合は、「ひきこもり状態にある方」としてください。
- 3 調査対象地域
あなたが民生委員・児童委員として受け持っておられる地域とします。
- 4 調査の基準
令和6年9月1日現在とします。
※現在把握されている情報でご記入ください。
この調査のために個別訪問や関係先等への照会を行っていただく必要はありません。
また、個人情報の記載も必要ありません。
- 5 回答期日
各地区会長へ提出し、令和6年11月5日の会長連絡会にて回収します。
- 6 調査結果の取り扱い
調査の結果は、年齢・支援の必要性などにより集計の上取りまとめます。
個々の民生委員・児童委員の方の回答内容が、上記の目的以外に使用されたり、外部に漏れたりすることはありません。
- 6 その他
関係機関、支援団体を通して本人や家族へは別途調査を予定しています。

担当校区名 ()

日頃より、豊橋市政にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。
 実態把握のため調査にご協力をお願い致します。当てはまるものに○をお願いします。

※現在把握されている情報でご記入ください。
 この調査のために個別訪問や関係先等への照会は行っていただく必要はありません。
 また、個人情報の記載も必要ありません。

問1 あなたの受け持ち地区で、ひきこもりの状態にある方と思われる方はいますか？
 該当する項目を○で囲んでください。

ア. いる → 問2へお進みください。

イ. いない → 質問は以上になります。ご協力ありがとうございました。

問2 あなたの受け持ち地区で、ひきこもりの状態にあると思われる方の人数を
 ご記入ください。

_____人

問3 問2で回答した方それぞれについて、該当する項目に○をしてください。
 わかる範囲内での回答で結構です。

		該当者					
		例	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
1. ご家族の方から相談を受ける など、実際に関わったこと がありますか？	ある	○					
	ない						
2. ひきこもりの状態にあると 思われる方の性別	男性						
	女性	○					
	わからない						
3. ひきこもりの状態にあると 思われる方の年代	15(義務教育終了)～19歳						
	20歳代						
	30歳代						
	40歳代						
	50歳代	○					
	60歳～64歳						
	わからない						

		該当者					
		例	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
4. ひきこもりの状態にあると思われる方の同居家族 (複数回答可)	父						
	母	○					
	兄弟						
	弟妹						
	祖父						
	祖母						
	配偶者						
	子						
	孫						
	一人暮らし その他						
5. ひきこもりの状態の期間	1年未満						
	1～5年						
	6～9年	○					
	10～20年						
	21年以上						
	わからない						
6. ひきこもりの状態になったきっかけ (複数回答可)	不登校(小学校)						
	不登校(中学校)						
	不登校(高等学校)	○					
	いじめ						
	学業不振	○					
	友人関係						
	家族関係						
	高校・大学受験						
	就職活動の挫折						
	職場関係						
	失業・退職						
	疾病(けが等)						
	疾病(精神疾患等)						
	個性						
	事故や犯罪被害						
わからない その他							

		該当者					
		例	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
7. 問題点をあげるとしたら (複数回答可)	親族の高齢化						
	経済的困窮	○					
	就労先がない						
	家庭内暴力等が心配						
	徘徊・騒音等不審な行動						
	わからない						
	その他						
8. ひきこもり状態の度合い	外出はよくしている						
	決まった目的の時だけ外出している						
	見たことはないが、生活音は感じる	○					
	窓も締め切り、居る感じがしない						
	わからない						
	その他						
9. ひきこもりの状態にある方への 関わりについて (複数回答可)	当事者の情報が少ない	○					
	公言されていないので見守りを続けている						
	当事者やご家族に声をかけている						
	相談窓口を紹介したことがある						
	会うことができない	○					
	当事者やご家族の相談を受けている						
	あまり関わりたくない						
	その他						
問4 行政に対してご意見等がございましたらご自由にご記入ください。 (具体的な問題、心配ごと等なんでも構いません)							
例:どこに相談してよいかわからない。どのように対応すればいいか悩む等、率直なご意見をお聞かせください。							

質問は以上になります。ご協力ありがとうございました。